

医療安全情報レポート

Vol.28

働くみんなの医療安全

ダブルチェックについて

現場からは、「ちゃんとみていなかった」「確認不足だった」「他の人が見ていたから大丈夫かと思った」など「**確認不足**」の報告が聞かれます。注射薬、内服薬、処方箋、書類関係など現場には確認するものがたくさんあります。日々の業務はどのような方法で確認していますか？

今回は確認方法の一つのダブルチェック（1人双方向型）についてご紹介します



ダブルチェックとは

2回・2重に照合作業をすることで

* 2人で1回チェックを行うことが、ダブルチェックではありません。



1人双方向型：一人で実施

注射
ワーク
シート



1回目は、
処方箋をみて薬剤をみる

注射
ワーク
シート



2回目は、
確認の順序を逆に
薬剤をみて処方箋をみる

■目的

- ・エラーそのものを減らすものではなく、エラーを**発見すること**

■有効なダブルチェックとは

- ・責任感を持って作業すること（独立性）
- ・**正しい情報と照合すること**

- 上記の注射の場合は、日付・患者名・薬剤名・薬剤量・投与用法・投与開始時間・流量・点滴の投与順番で、一人で2回チェックします。
- ダブルチェックは、他に2人連続・2人双方向型・1人連続型などあります。各現場にあった方法を選択ください。

参考文献：病院安全教育2019年10・11月号